

20建設第125号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

和束町長 堀

忠 雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のあった上記のことについて、別紙のとおり報告します。

今後の道路整備についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望提案など

京都府 和束町

道路は、地方の生活や産業経済・社会活動を支える最も重要な社会基盤として、地域の交通の円滑化に資するほか、都市部と地方部の交流・交易基盤として活力と魅力ある地域づくり、安全で快適な環境づくりの実現のためには、道路網の整備充実を強く要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

京都府 和束町

○ 現状

本町においては、町内に鉄軌道がなく大型物流のみならず日常生活に至るまで自動車交通に依存しており、急峻な地形であるために、狭小な道路が多く整備が遅れているのが現状である。このようなことから、道路の整備についての町民の要望はきわめて強く、今後高齢化が進む中で町民の日常生活や災害等緊急時の安心安全確保のための緊急課題となっている。

○ 課題

遅れている地方の道路整備を推進するため、道路特定財源の一般財源化にあたっては必要な財源の確保を強く要望します。

今後の道路整備についての意見・提案

②－２地域の目指すべき将来像

京都府 和束町

本町では、主要地方道として「府道木津信楽線」および「府道宇治木屋線」があります。これら府道は本町のみならず木津川右岸地域においても「宇治茶」の主産地としての一帯的かつ特色ある地域づくりにも不可欠であるばかりでなく、木津川西岸地域（学術研究都市）との地域格差解消にも欠かせません。

そのためにも「都市」と「農村」の交流促進及び、各自治体の連帯した産業発展や防災のためにも重要であり本町にとって道路整備は不可欠と考えます。